



1. マーケット・レート

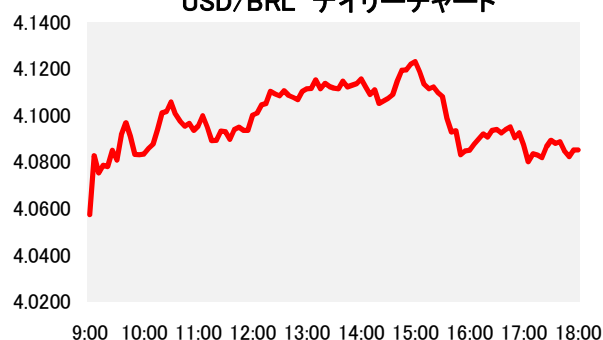
			9月4日	9月5日	9月6日	9月7日	9月10日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.1600	4.1460	4.0560	休場	4.0850	+0.0290
	BRL/JPY	Spot	26.790	26.890	27.30	休場	27.20	-0.10
	EUR/USD	Spot	1.1583	1.1633	1.1620	1.1620	1.1595	-0.0025
	USD/JPY	Spot	111.46	111.50	110.74	110.74	111.15	+0.41
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.420	7.420	7.234	休場	7.193	-0.041
	Future	1Year(p.a.)	8.399	8.388	8.108	休場	8.032	-0.076
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.946	3.946	3.931	休場	3.954	+0.023
	USD	1Year(p.a.)	4.543	4.520	4.519	休場	4.542	+0.023
株式	Bovespa指数		74,711.81	75,092.25	76,416.00	休場	76,436.38	20.38
CDS	CDS Brazil 5y		309.83	296.96	281.59	280.59	281.10	+0.51
商品	CRB指数		192.124	191.013	189.783	190.357	191.019	+0.66

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

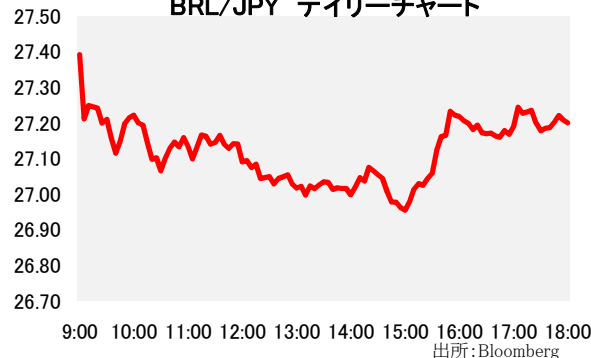
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.14%	0.13%	0.07%

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

なし

4. トピックス

- 本日のレアルは4.0610で寄付き、直後に日中高値4.0550を付けた。6日(金)が祝日休場だった中、同日に発表された米雇用統計の良好な結果等を受けてドル買いが優勢となり、午後に入ると日中安値4.1250を付けた。その後買戻しの動きが見られたものの、夕刻に新たな大統領選挙に関する世論調査の結果発表を控える中、4.09台を揉み合い、結局4.0850でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2018年の経済成長率予想が1.44%から1.40%へ下方修正された一方、2019年は2.50%で据え置き。インフレ率予想は2018年が4.16%から4.05%へ下方修正された一方、2019年は4.11%で据え置かれた。年末の為替レートは2018年が3.80、2019年は3.70でそれぞれ据え置かれた。
- 本日、インドルピーは対ドルで過去最安値となる72ルピー一台まで下落。新興国通貨安が進行する中、先週末発表された同国の経常収支が2013年第2四半期以来最悪の水準まで悪化したことが嫌気された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。